

海外安全対策情報（平成28年1～3月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) NSW州

治安情勢は総じて安定している。殺人事件は前年の89件から64件に減少、また強盗、住居侵入及び窃盗（車上ねらい）も減少傾向にある。

一方、強制わいせつ並びに窃盗（店舗を対象）が増加傾向にある。

また、シドニー市街地では、観光客等に対するすり・ひったくり事件の他、酔客に対する暴行事件も特に週末の夜に依然として頻発していることから、注意を要する。

なお、顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

○シドニー地域

Central Coast：窃盗（店舗を対象）（+26.1%）

Easten Suburbs：強姦（+26.2%）、窃盗（店舗対象）（+32.4%）

Northern Beaches：器物損壊（+36.3%）

Outer South West：強制わいせつ（+35.7%）詐欺（+25.2%）

Sutherland：窃盗（店舗を対象）（+40.9%）

○Coffs Harbour - Grafton：住居侵入（+32.9%）

○Mid North Coast：強制わいせつ（+34.7%）、詐欺（+28.8%）

○New England and North West：詐欺（+46.5%）

○Riverina：強制わいせつ（+26.5%）

○Southern Highlands and Shoalhaven：強制わいせつ（+62.5%）、詐欺（+55.2%）

(2) 北部準州

治安情勢は総じて安定している。暴行、脅迫、性犯罪等の人に対する犯罪は微減（-2.5%）し、窃盗、住居侵入等の所有権を侵害する犯罪も減少（-5.0%）している。

2 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生はないが、治安当局はNSW州内における4件のテロ関連犯罪（テロの計画等）容疑者の逮捕を発表しており、そのほとんどがシリア等に渡航歴のない10代の若者であることから、過激な思想に感化されてテロ活動に走るホーム・グローン・テロリスト等に対し引き続き警戒が必要である。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

特段注意を要する事件・情報は認知していない。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情は良好であるが、イルカ漁に対する抗議活動が依然行われていることから、動向に注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2015年4月から2016年3月までの1年間。増減率：前年同期比）。